

教 育 学 部

1) 教育学部が求める学生像

教育学部では、子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる、学校現場で活躍できる専門力と実践力を兼ね備えた教員を養成することを目的としています。この観点から「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 将来、教員になるための素養と、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として、または多様な人々と協働して、地域社会における教育に参画していこうとする行動力
- 教育者を目指して知的・人格的に成長していこうとする意欲

また、教育学部の各課程・専攻は、それぞれ次のような学生を求めます。

【学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻】

- 小・中学校等の教員として必要な専門力・実践力を身に付けるために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 将来、小・中学校等の教員として、学校教育に貢献したいという強い意志と、明確な目標を持っている人

【学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻】

- 障害等の特別な教育的ニーズを教育、心理、病理などの多方面から理解し支援するために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 将来、特別支援学校等の教員として、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の自立に向けた活動に関わることを強く希望する人

【養護教諭養成課程】

- 養護教諭として必要な専門力・実践力を身に付けるために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 子どもの健康に高い関心を持ち、将来、養護教諭として学校教育に貢献するという強い意志を持つ人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 高等学校で履修する教科・科目の基礎的理解だけでなく、取得する教員免許に則した深い学び、課題の把握とその解決に向けたプロセスをわかりやすく表現や説明できる力を習得しておくことが必要です。
- 将来、教員として同僚や児童・生徒、保護者とのコミュニケーションを円滑に育めるように、課外活動やボランティア活動など、多様な人々と積極的に関わっていく主体的な経験が望まれます。
- 日頃から社会情勢や教育問題に対して関心を持ち、困難な問題にも安易にあきらめることなく乗り越えるための努力を惜しまない姿勢と、自己を高める継続的な向上心を身に付けておくことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

教育学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】 入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	小学校コース, 中学校コース (音楽専修・美術専修・保健体育専修・技術専修を除く), 特別支援教育専攻, 養護教諭養成課程		○		
	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価すると共に, 教員としての適性・資質・能力, 教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から, 左記の方法により総合評価して選抜します。			
	個別学力検査				
個人面接					
一般選抜 (後期)	小学校コース, 特別支援教育専攻		○		
	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価すると共に, 教員としての適性・資質・能力, 教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から, 左記の方法により総合評価して選抜します。			
	個人面接				
総合型選抜Ⅰ	中学校コース (音楽専修・美術専修・保健体育専修・技術専修)		○		○
	個人面接	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで, 本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な, 音楽・美術・保健体育・技術の教員としての基礎的な学力 (技能及び知識) と資質・適性, 教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から, 左記の方法により総合評価して選抜します。			
	実技試験				
	特別支援教育専攻				○
	個人面接	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで, 本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な, 特別支援学校等の教員としての資質・適性, 教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から, 左記の方法により総合評価して選抜します。			
	集団討論				
志望理由書					
総合型選抜Ⅱ	小学校コース, 養護教諭養成課程				○
	共通テスト	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで, 本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な, 教員としての適性・資質・能力, 教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価すると共に, 高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から, 左記の方法により総合評価して選抜します。			
	個人面接				
	集団討論				
	志望理由書				

注) 個人面接では, 調査書を参考資料とします。

注) 総合型選抜Ⅰの保健体育専修では, 運動歴調査書を評価して実技の得点に含め, また, 個人面接では, 運動歴調査書を参考資料とします。

【別表2】 選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
個人面接	一般・前期	<p>質疑応答等を通して、①自己表現能力、②教職への目的意識、③教員としての適性・資質・能力、④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価します。</p> <p>総合Ⅰの美術専修及び保健体育専修においては、それぞれ美術と保健体育に関する知識を問う口頭試問も行い、「学力」も評価します。総合Ⅰの技術専修においては、実技試験で作成した成果発表と、その内容についての質疑応答も行い、技術に関する「学力」も評価します。</p>
	一般・後期	
	総合Ⅰ	
	総合Ⅱ	
集団討論	総合Ⅰ	<p>【小学校コース、特別支援教育専攻、養護教諭養成課程】</p> <p>与えられたテーマについてグループで討論を行います。</p> <p>討論を通して、①話し方・聞き方等のコミュニケーション能力、②発言内容、③教員としての適性等を把握し「学力」「行動力」「意欲」を評価します。</p>
	総合Ⅱ	
実技試験	総合Ⅰ	<p>【中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修・技術専修）】</p> <p>事前に提示した課題または基礎運動能力テストについて実技試験を行います。</p> <p>基本的な能力・技術等を把握し、音楽・美術・保健体育・技術の教員として必要な「学力」（技能・運動能力）を評価します。</p> <p>音楽専修においては、演奏楽曲に関する知識等に関する口頭試問も含まれます。</p> <p>保健体育専修においては、運動歴調査書により得意とするスポーツ競技の成績や、活動状況等の運動歴を通して、保健体育教員として必要な資質・適性である「学力」（専門的なスポーツ能力）を評価して、実技の得点に含めます。</p>
志望理由書	総合Ⅰ	<p>【小学校コース、特別支援教育専攻、養護教諭養成課程】</p> <p>志望理由や活動実績等の内容から、①自己表現能力、②教職への目的意識、③教員としての適性・資質・能力、④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し、主に「意欲」を評価します。</p>
	総合Ⅱ	